

2016年2月2日

日本基督教団関東教区諸教会、伝道所様

日本基督教団関東教区
総会議長 秋山 徹
統括主任 飯塚拓也

「東日本大震災」被災教会・被災地を覚える主日と記念礼拝のご案内

主のみ名を賛美いたします。

2011年3月11日（金）午後2時46分に発生した「東日本大震災」より、今年の3月11日（金）をもって五年を迎えようとしています。

北海道から東京に至るまで、広範囲に大きな被害をもたらした東日本大震災でした。被災地ではなお大地震・大津波の爪痕は深く残り、再建の道が見いだせずらいらっしゃる方が多く残されています。また、被災された方々にとっては、自宅の再建に取りかかった方と仮設の暮らしを続けざるを得ない方との格差が広がる状況があります。震災復興住宅が完成しても、その家賃負担が重くのしかかり、継続して仮設住宅での暮らしを求める方もいらっしゃるのです。

東京電力福島第一原子力発電所の大事故の影響も依然厳しい状況にあり、避難生活を強いられている方々が多く残されています。被ばくによる健康不安は増えています。また、福島第一原発周囲の町では、除染はもちろんのこと、地震・津波被害からの復旧は全くの未着手です。政府は避難解除を進めていますが帰宅する住民は多くなく、商店等が再開されるまでの人口に至らず、悪循環となって地域共同体の再建は進んでいません。

一年前に、私たちの間に「風化」の傾向が強くなっていることを記念礼拝のご案内に記しましたが、五年目を迎える今は、この傾向はさらに強くなっていることを思います。この私たちの弱さを改めて覚え、主に祈り、被災された方々への思いを新たにさせていただきたいと願います。

「東日本大震災」被災五周年にあたり、関東教区では、覚える主日と記念礼拝を持つこととなりました。ぜひ、教区内諸教会伝道所、関係学校・団体の皆さまに、祈りを共にしていただきたくここにご案内申し上げます。

・『東日本大震災』被災教会・被災地を覚える主日は3月6日（日）です

この日の礼拝において被災教会と被災地を覚え、震災からの復興を祈りましょう。

そして、可能であれば、礼拝献金を「関東教区東日本大震災被災支援募金」にお献げください。

・記念礼拝は、3月11日（金）午後1時30分～アジア学院チャペル（栃木地区）にて開催します

記念礼拝の説教は、蕃畑旭西那須野教会主任担任教師です。

教団や他教区へも参加をご案内しています。ぜひ、ご出席をお願いいたします。

なお、『東日本大震災』被災教会・被災地を覚える主日のための「折り文」は、現在作成中です。後日、「リタニー」と「代表祈祷」を送付いたしますのでしばらくお待ちください。主の祝福が皆様の上に豊かにありますように。お祈りいたします。

主にありて